



巻頭言

整形外科

教授 しらはた 白旗 としゆき 敏之



私が診療科長として勤務してから早くも4年目を迎えることとなりました。COVID-19 感染の猛威に晒される中でのスタートとなりましたが、少しずつ以前のような生活を取り戻しつつも、医療現場ではまだCOVID-19 感染により、発熱外来の設置・入院前のPCR 検査・感染者の隔離・感染や濃厚接触による手術・検査の延期など制約が続いており、通常の業務遂行には至っていない状況が続いております。

この度、1月10日から昭和大学江東豊洲病院整形外科の教授を拝命いたしました。この場をお借りして、整形外科の現状を紹介させていただきます。

現在、常勤スタッフは12名で外来、病棟業務、手術や救急診療を行っております。整形外科では一般的な四肢骨折や脱臼など怪我（外傷）を多く扱うのはもちろんですが、当院では脊椎急性外傷や小児救急外傷にも対応しております。また脊椎、上肢（手肘・肩、末梢神経疾患）、下肢（膝関節、股関節）の経年的変化に伴う変性疾患やスポーツ外傷、小児整形外科疾患と診療の幅は非常に広く、赤ちゃんから高齢者まで、首から下の骨・関節・筋肉・腱・神経の病気を対象に診療を行っております。

整形外科専門医が10名在籍し、更にサブスペシャリティとして認められている脊椎外科専門医、手外科専門医が在籍しております。脊椎外科では、頸椎から腰椎における椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症をはじめ、変性後側弯症に対する変形矯正手術や低侵襲手術である側方侵入腰椎椎体間固定術など高難度の脊椎疾患に対する手術や他院で手術加療を受けられた患者さんの診療や手術加療も対応しております。

上肢外科は、歴代の診療科長が手外科専門医であったこともあり、その伝統を継承しつつ小児から高齢者までの上肢外傷や外傷後の変形矯正、末梢神経障害、肘・手・手指関節疾患の治療を行っております。

下肢関節外科は膝、股関節に分かれて担当し、膝関節外科はスポーツ外傷に対する関節鏡下手術、変形性関節症に対する人工関節置換術や関節温存骨切り手術を個々の患者さんのニーズと状態に合わせて行っています。そして2022年1月から変形性膝関節症に対する再生医療の多血小板血漿療法（PRP療法）を開始しました。股関節外科は主に変形性股関節症や大腿骨頭壊死症に対する人工股関節置換術を行っております。

また、小児整形外科専門医も在籍し、小児疾患への診療も行っております。当院では年間約1,200件の手術を行っております。これほどの手術を支えているのは昭和大学が掲げる多職種チーム医療です。当科スタッフだけでなく他科医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師、事務職等と病院全体で患者さんの治療にあたっております。今後も、個々の患者さんに合わせた最適な医療を心がけ、地域の皆様に安心して当院を受診していただけるよう努めてまいりたいと思っております。



第107号のトピックス

- 巻頭言（整形外科）
- 臨床病理検査室紹介
- 江東豊洲病院開院10周年に向けて Part1
- ホームページに医療トピックスを新設しました
- 「分娩立ち会い」再開のお知らせ
- 編集後記

病院の中には医師・看護師・薬剤師など様々な職種の職員が勤務しています。その中で「臨床検査技師」といった国家資格をもって勤務しているのが私たちです。以前は認知度の低い立場でしたが、コロナ禍によりメジャーになった検査「PCR 検査」を測定するのは私たち「臨床検査技師」であることが認知されるようになりましたが、まだまだ地味な職種です。

臨床病理検査室は「生体系検査」と「検体系検査」に大きく二つに分かれます。

超音波検査用機器



心電計

全自動遺伝子解析装置



生体系検査には生理機能検査室、超音波検査室があります。患者さんの身体に触れることが多い検査になります。生理機能検査室は主に心電図検査・血圧脈波検査（ABI）・呼吸機能検査・脳波検査・神経伝導検査・聴力検査などがあり、体の様々な機能や構造を記録しています。超音波検査室は「人間の耳では聞こえないほど高い周波数の音」超音波を使って検査をします。プローブという機械をあて超音波を装置から発信し、臓器から反射して返ってくる超音波を画像化しています。



検体系検査は患者さんの体から採取した（血液・尿・便・喀痰・組織）ものを検査します。血液は採血室で採取します。ここでは針を刺して血液を採取するため、患者さんに痛みを伴います。安全に採取できるよう、針の太さの選択やアレルギーの有無など聞き取りをしてから採血を行います。その後、検体検査にて、生化学的な成分分析、顕微鏡で形態を調べて異常を見つけるなどの業務を行っています。



採血室

全自動分析装置



病理検査室は、患者さんの組織及び細胞を採取し標本を作製する組織・細胞診断業務、術中に迅速に標本作製し診断および術式の一助を担う迅速診断業務、病理解剖業務を主に行っています。これらの業務を病理医と協力しながら結果を出します。



輸血製剤

輸血検査室は、輸血を安全に実施するための検査（血液型検査など）および血液製剤の管理を行っています。この検査室は検査だけでなく、日本赤十字社から輸血製剤を取り寄せ、必要時にすぐに使えるよう検査技師が管理を行っています。

検査結果は患者さんの今後に重大な影響を及ぼします。私たち臨床検査技師は検査以外の機器の管理、精度管理なども確実にを行い、日々正確な検査結果を出すことが重要な使命です。



江東豊洲病院開院 10周年に向けて Part 1

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年目を迎えます。病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

2010年3月31日

「豊洲地区における病院整備および運営に関する協定書」を江東区と締結

「女性とこどもにやさしい病院」を基本理念とし、地域の中核的役割を果たす総合病院として整備していくことが決まりました。



小口昭和大学理事長 山崎江東区長
(資料提供：江東区広報広聴課)

2014年3月24日

江東豊洲病院開院、診療開始（許可病床300床）

開院当初は医師・歯科医師 117名、看護師・助産師 182名、その他職員 93名の計 392名で、現在の約半数の職員数でした。



2014年出来事（一部）

ソチオリンピック開幕
アナと雪の女王 日本で公開
新語・流行語年間大賞は
「ダメよ～ダメダメ」「集团的自衛権」

Pick up

ホームページに医療トピックスを新設しました

病院ホームページ上に診療科から患者さんへお知らせしたい内容を掲載した医療トピックスのページを新設しました。現在は「泌尿器科」、「皮膚科」、「歯科・歯科口腔外科」を掲載しています。

医療トピックス



小線源療法（泌尿器科）



新薬治療について（皮膚科）



歯科診療について（歯科・歯科口腔外科）



今後も定期的に更新していきますので、ぜひご覧ください。
<https://www.showa-u.ac.jp/SHKT/guide/report/topics/>



「分娩立ち会い」再開のお知らせ

当院ではコロナ禍で「院内感染予防」の観点から長らく「分娩立ち会い」を休止していましたが、『一定の条件』を満たす方に限り「分娩立ち会い」を再開しています。

詳細は病院ホームページをご確認ください。



(<https://www.showa-u.ac.jp/SHKT/news/nid00005040.html>)



分娩立ち会いの基準について



1. 立ち会い許可の基準

- ① 産婦さんの入院前 PCR スクリーニングで陰性の確認ができています
- ② 新型コロナウイルス感染予防対策について理解と協力ができ、当院の定める感染予防対策にしたがっていただける
- ③ 妊婦さんと同居しているパートナー（またはパートナーに準ずる方）1名
- ④ 立ち会い者は、入院前日から分娩直前までに抗原検査（または PCR 検査）を実施し陰性が確認できる
 - ・立ち会い者は、陰性が確認できるもの（画像等）をご持参ください
 - ・1 階時間外・救急受付、及び病棟にて提示をお願いします
- ⑤ 以下の除外基準に該当しない



2. 立ち会いができない場合（除外基準）

- ① 発熱（37 度以上）・咳・痰などの新型コロナウイルス感染症を疑われる症状を有する場合
- ② 当院の定める感染予防対策にしたがっていただけない場合

編

集

後

記

まだまだ寒い日が続きますが、3月といえば、暦の上では春です。

3月の和風月名は、弥生（やよい）ですね。「木草（きくさ）弥生い茂（やおいしげる）月（つき）」が、縮まって“弥生（やよい）”になったといわれています。春が近づき、草木がいよいよ生い茂る様子・時期であることを表しているそうです。また、春が来て、緑が増えるのを心待ちにしていたというのが伝わってくる意味が込められていました。

今年に入って、10年に1度とされる大寒波が猛威を振るい東京でも寒々とした時期もありましたが、ここ最近、日も少しずつ長くなり、やっと春の兆しが見えてきました。

年度替わりで何かと慌ただしい時期ではありますが、コロナの猛威を吹き飛ばし、草木が芽吹くように、新しい年度に向かっていきましょう。

産婦人科 はまだ 濱田 しょうこ 尚子



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ